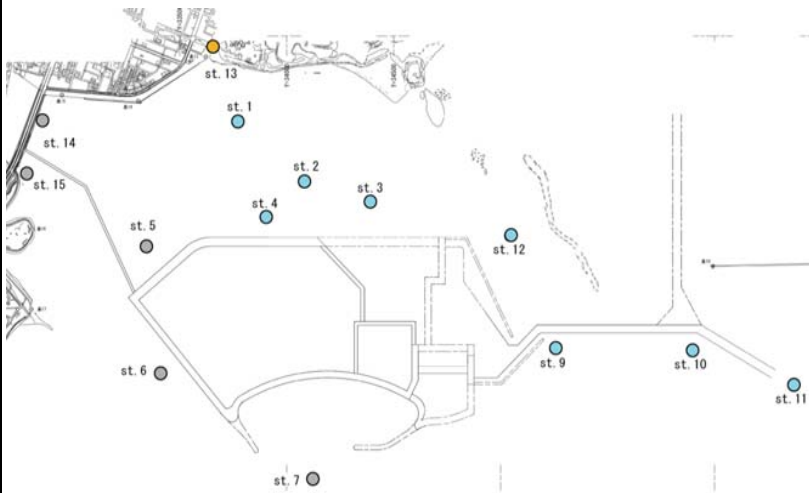


第7回(10月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間: 令和1年10月1日～令和1年10月31日 那覇港湾・空港整備事務所

異常確認の有無		工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は10月23日のst.2で6.7mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は10月23日のst.4で5.7mg/Lであった。		今月の県施工事は、県道20号線(泡瀬工区)で、土留支保工設置、床掘り、汚濁防止膜設置、支持杭打設、鋼管杭引抜き、灯浮標BK設置、グラブ浚渫、揚土等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。 今月の国施工事は、護岸工事及び鉄塔撤去工事で、陸上基礎工(本均し、荒均し)、被覆・根固工(投入・均し)、上部工(型枠組立、生コン打設、止壁、Pコン処理、コンクリート打設・運搬、水叩生コン、基礎砕石、溶接金網)、裏埋材投入・均し・敷均、石材撤去、汚濁防止膜設置、汚濁防止膜棧橋部移設、防砂シート設置、吊金具削孔、足場組立、支持杭打設、横継材設置、PL溶接、覆工板設置、ガス切断が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。	
	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.9mg/L、0.8～6.7mg/Lの範囲で推移していた。		
	工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.4mg/L、0.3～5.7mg/Lの範囲で推移していた。		
	流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=10回(29計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(29計測中) 平均値は9.7mg/L、2.8～20.3mg/Lの範囲で推移していた。		
	流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	10/12の20.3mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであり、降雨による濁り流入はみられなかった		
基準超過時の気象概況	全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 	
	全ての地点で、監視基準を満足していた。			
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。			

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視 観察 結果	<p>調査地点の最高値は10月2日(PM)のst.5で観測された10.1mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質 調査 結果	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.8mg/L、<1.0～10.1mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中24回 st.15=29計測中26回</p> <hr/> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中0回 st.15=29計測中0回</p>	<p>特になし</p>
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 10/12 (PM 上げ潮時)、10/26 (PM 上げ潮時)46mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は両日ともに前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。</p> <p>st.15: 10/9 (PM 上げ潮時)31mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が0.0mmであった。降雨による濁水流入は見られなかった。</p>	
基準超過時の 気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の 工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

